

## 中原大学(台湾)語学研修 参加報告書

外国語学部中国学科 2 年（参加時）

今回 2024 年度春に台湾の中原大学において語学研修として 3/3～3/23 までの約 3 週間留学させて頂いた体験を皆さんにお伝えしていきたいと思います。

### 【授業】

授業は主に A・B・C で 3 つにレベル分けされていました。そして、授業は全て中国語で行われており、アウトプット型でした。具体的には、授業中は中国語で発言するのはもちろんのこと中国語の単語の意味を中国語で説明することが 1 番難しかったです。日本ではいつも日本語で授業を受けているので最初は戸惑いと先生の話についていくのに必死でした。しかしこの 3 週間でリスニング力を鍛えることが出来た気がします。

そして授業の中には「文化クラス」があり、台湾の文化を実際に体験しながら学習しました。伝統的なお菓子や夜市の遊びや判子やタピオカ作りなど様々な体験をしました。



(↑文化クラスの様子)

また、授業後には毎日「1 対 2 の会話練習」がありました。台湾人の先生と日本人ペア 2 人で、主に授業の復習や発音チェックをしてもらっていました。私は今までに苦手な発音、例えばそり舌や an と ang の違いなど細かい部分は気にしていなかったのですが、初めてきちんと指摘されたので発音にこだわるようになりました。寮に帰ってからも台湾人の人にずっと教えてもらって毎日練習して発音を少しずつ改善しました。

最初は自分の発音の悪さや会話力の無さがここまで酷いと自覚していなかったので落ち込んだり悔しい気持ちになったりしたこともありました。でも、クラスの先生はいつでも明るくサポートしてくれて、会話の先生も根気強く発音練習に付き合ってくれたので、3週間で吸収できるものは全部現地で吸収して帰りたいと思ってスイッチが入ってからは授業が本当に楽しかったです！

### 【バディ(学伴)と仲間】

3週間の中で日本人についてくれたバディ達と他大学からこの語学研修に参加していた仲間の存在は私にとって本当に大きいです。バディの台湾人の皆さんは日本語を学んでいる方が多かったのが励みになりました。私たち日本人が、中国語で日本語を教えたり、逆に中国語を教わったりする日常で切磋琢磨しながら語学を学ぶ毎日が本当に楽しかったです。皆で励まし合いながら勉強する環境が私は大好きでした。

また他大学の人たちとも出会えたのがいい思い出です。他大学の中国語の授業形式を聞いて、中国語を将来どう使うのか皆で話せたことが嬉しかったです。また会える日までもっと努力して皆に追いつきたいと思うようになりました。

### 【食生活】

台湾は基本的に家でご飯を作る文化は無いようで、毎日外食していました。「夜市」という日本で言う屋台が毎日並んでいる文化があるので、中原大学近くの夜市で何度か食事をしました。また味も癖が強いこともなく辛さも調節できるのでとても食べやすかったです。

飲み物屋さんが充実しているので、3週間で色々なタピオカや紅茶を飲み歩きました。



(夜市のお買い物)

(飲み物屋さん)

### 【週末の過ごし方】

自由時間は2回あったので、1度目は大学付近の「桃園」でショッピングをしました。2回目は、「台北」でカフェに行き、その後友達とショッピングを楽しみました。

後は校外学習として、「淡水」に行き海を満喫したり、お菓子作り体験をしたり夜市に行きました。また別日には台湾総督府という歴史ある場所を訪れたり、鉱山の跡地見学をしたり、砂金集めなど普段しない非日常的な楽しさを味わえました。



(左：七星潭)

(右：台湾総督府のツアー)

### 【これから留学へ行く人へ】

#### ①支払方法

クレジットカードはなかなか使えなかったので常に現金を持ち歩くようにしておくといいかもしれません。日本円を台湾で変えるには大学から1番近い銀行か、私はあらかじめ空港で換金しておきました。

#### ②薬は多めに

現地で体調を崩す人が多い場合集団行動をしていると、どうしてもうつりやすくなるので薬は多めに常備することを推奨します。

#### ③悠游カードを現地で買うと便利

日本で言うと交通系 IC カードのことです。これ1枚あると電車や地下鉄や支払いの時(店舗によります)に使用できるので大変便利でした。特に土日にお出かけする際に大活躍でした。(日本より相当安い電車賃だったのでチャージ料金は300元くらいでも多いくらいでした)

#### ④繁体字と簡体字の違い

台湾では主に「繁体字」が使用されていますが、普段の授業では簡体字しか学んでいない学生さんが、北九州市立大学では大半だと思います。最初は慣れないことだと思いますが、私は両方読み書きできるというクラスメイトに出会ってから繁体字も履修したいと思うようになりました。

#### ⑤留学へ行くか悩んでいる人へ

私も最初は本当に悩んでいました。でも私はこの3週間心配していたことが嘘のように毎日が新鮮で思い出になりました。もし少しでも興味があるなら、ぜひ行ってみたいですね。そして台湾の良さをもっと身に染みて感じて中国語を学ぶことの楽しさに気づいてもらえたらと思います！そして留学へ行くだけでなく、帰ってからも私は変化がありました。学校の授業により一層興味が湧き、専門科目の繁体字の授業を見つけることができました。皆さんも何かの興味に繋がられるかもしれません。

#### 【最後に】

台湾に行く前に、最初は私自身留学に行くことに抵抗がありました。毎日中国語を学ぶ中で、自分の中国語力が他の人に比べて伸びないことの焦りを言い訳に勉強から逃げていたのかもしれません。だから、最初は学科の先生の強い勧めから私が何か変わるきっかけになればいいなという思いで、このプログラムに申し込みました。実際台湾に行ってから毎日本当に楽しくて最後は帰りたくない気持ちで溢れました。そして、3週間一緒に過ごした仲間との出会いは私にとって計り知れない刺激になりました。本気で言語が好きの子や、仕事で中国語を使いたい人達、中国語専攻では無いけど中国語の学習を頑張る人達の姿が私にとって大切な出会いでした。1年生の時の中国語の楽しさを思い出すことが出来た気がします。

もちろん楽しい気持ちだけでなく時には悔しい気持ちが沸いた時もあります。私は1番上のクラスに配属されたので、同級生の子たちは中国語がとても上手でした。自分が学んできた2年間は何だったのだろうと何度も思いました。しかし、それと同時に早く私も中国語を上達させたいという向上心が芽生えました。早く皆に追いついて沢山話せるようになりたいという、今までは全くなかった感情でした。

この語学研修で沢山自分の課題を見つけることができました。例えば、発音の悪さや文法力の無さやもっと会話へチャレンジできる点など、上げたらキリがないですが見つけられたことを日本で活かして早く自分の中国語をもっとスキルアップさせていきたいです。

語学研修を通して沢山の感情を毎日感じる事ができました。何かに挑戦すること

を恐れず行動し、自分が確実に毎日変わることができていることを感じられて本当に楽しかったです。日本でもこの経験をこれから活かすべく中国語をもっとスキルアップさせたいです。どこか中国語を話せないという、諦めていた気持ちから楽しさを生み出せた語学研修でした。3週間という短い期間ですが、貴重な経験をすることができて良かったです。関わって下さった皆さん、お世話になりました。本当に感謝し  
かないです。ここまで読んで頂き本当にありがとうございました。

以上で私の留学報告書とさせていただきます。